

平成28年11月30日

甲斐市議会議長 小浦 宗光 殿

甲斐市民クラブ 会長 斉藤 芳夫

視察研修報告書

- 1 日程 平成28年10月29日(土曜日)
- 2 場所 甲府市和田町村内(間伐実施前後の森林比較)
甲府市上帯那町不動山(間伐作業の見学)
武田の杜(山梨県森林環境税と森林の多目的機能などの説明)
- 3 参加者 斉藤 芳夫 金丸 寛 五味 武彦 滝川 美幸 横山 洋介

「山梨県森林整備現場見学会」研修

- 目的 森林環境税を活用した森林整備現場を視察
- 概要 森林整備の大切さを学び整備現場を実際に確認し山梨県森林環境税の活用内容の視察研修をした。

□感想

山梨県全土の77.8%は森林に覆われている。この森林からの恵みの恩恵を受けながら私たちは日々の生活をしている。また、土砂災害の防止や洪水の緩和など公益的機能も持っている。この貴重な財産を守り育て次世代に引き継ぐため、平成24年度から山梨県は森林環境税を導入し、県民個人から年額500円、県内法人から均等割額の5%を徴収している。この森林環境税の主な使い道は、①森づくりの取り組み(荒廃した民有林の間伐促進と再生、里山を再生させた鳥獣被害防止、広葉樹の森づくりの再生から豊かな恵みと災害防止の推進など)、②県産材の利用支援(学校施設での県産材利用、木質バイオマスの利用促進など)、③社会全体で支える仕組み(地域住民やボランティア・NPO等の森林体験や森づくり活動支援など)である。今回の視察研修では、荒廃した森林の間伐実施前後の比較

や伐木作業の現場見学と県内の森林状況や整備など森林環境税をどのように活用しているかレクチャーを受けた。

甲斐市の森林面積は3,152ヘクタールで43.8%の割合を占めている。内訳は、県有林が912ヘクタール、民有林が2,241ヘクタールである。民有林の割合が約7割を占めている甲斐市の森林においても手付かずの場所が多。甲斐市においては環境基本計画があり、基本施策2-2に「森の緑の保全」があるが、主な取り組みにおいて遅れを感じる人が多い。目標に対しての進捗状況を確認すると同時に、今後の改善に取り組んでいく必要がある。議会においても提言していく。

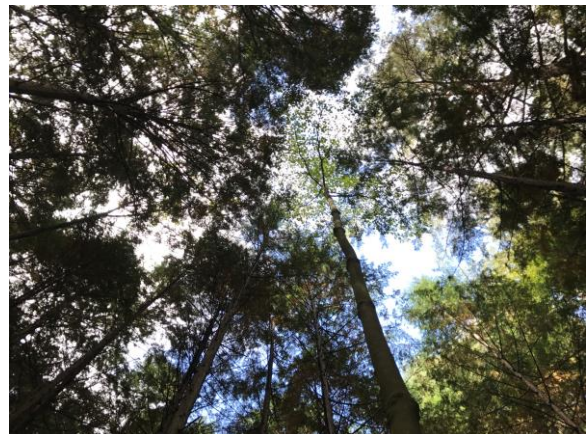
(記 横山洋介)

□視察研修の様様

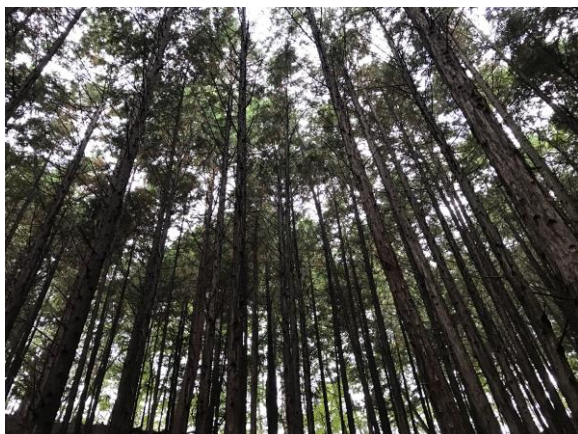
①参加者集合写真



②間伐現場



③間伐前



④間伐後



⑤現場見学



⑥現場見学

